

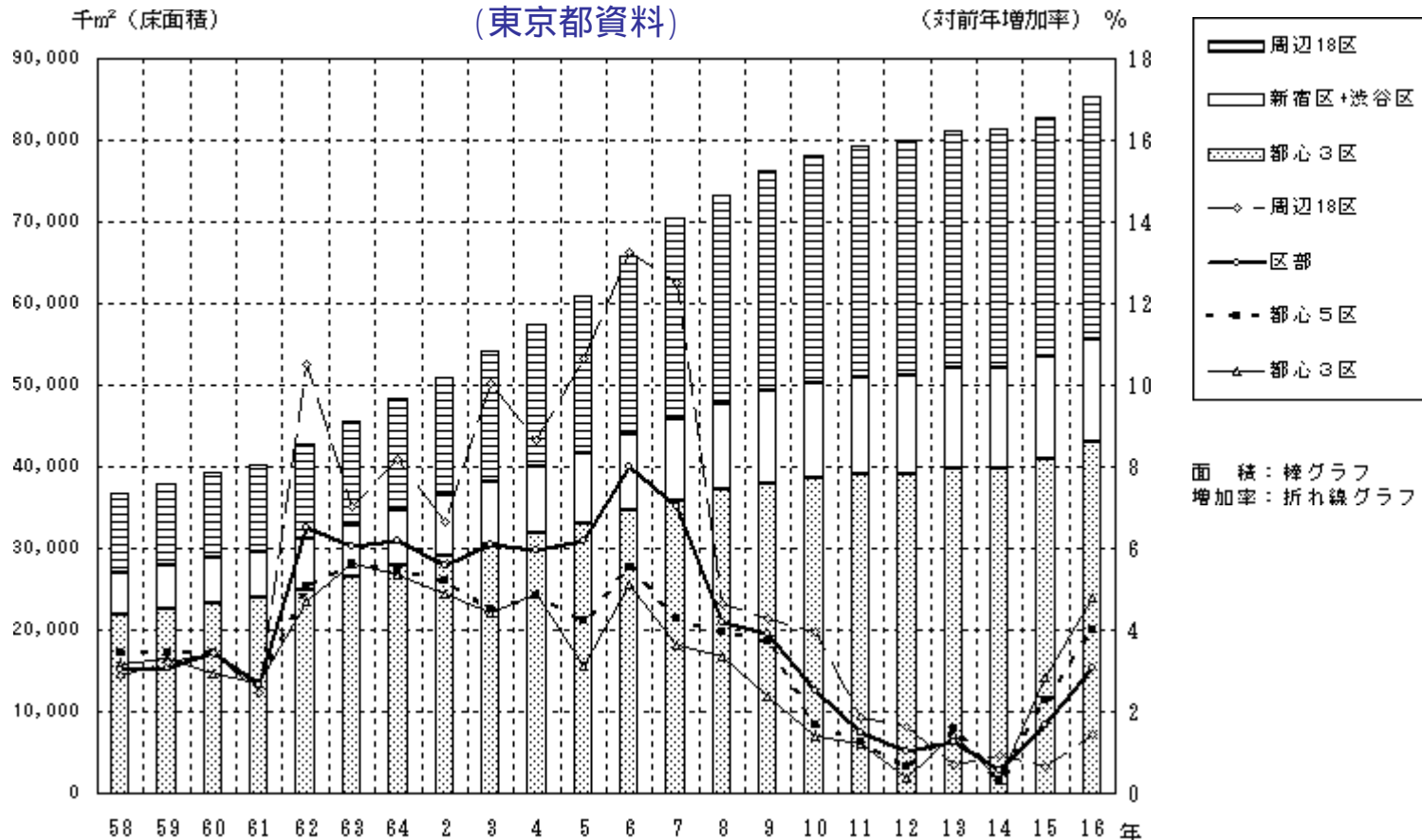
參考資料

東京の過剰事業所面積

ニッセイ基礎研究所によれば、団塊世代の定年を待たず、95年～00年の東京23区のオフィスワーカーは14万7千人(95年の同4%相当)減少したとされています。

いわゆる2007年問題の団塊世代の大量退職時代を迎えますが、東京23区の仕事所面積は、拡大し続けています。

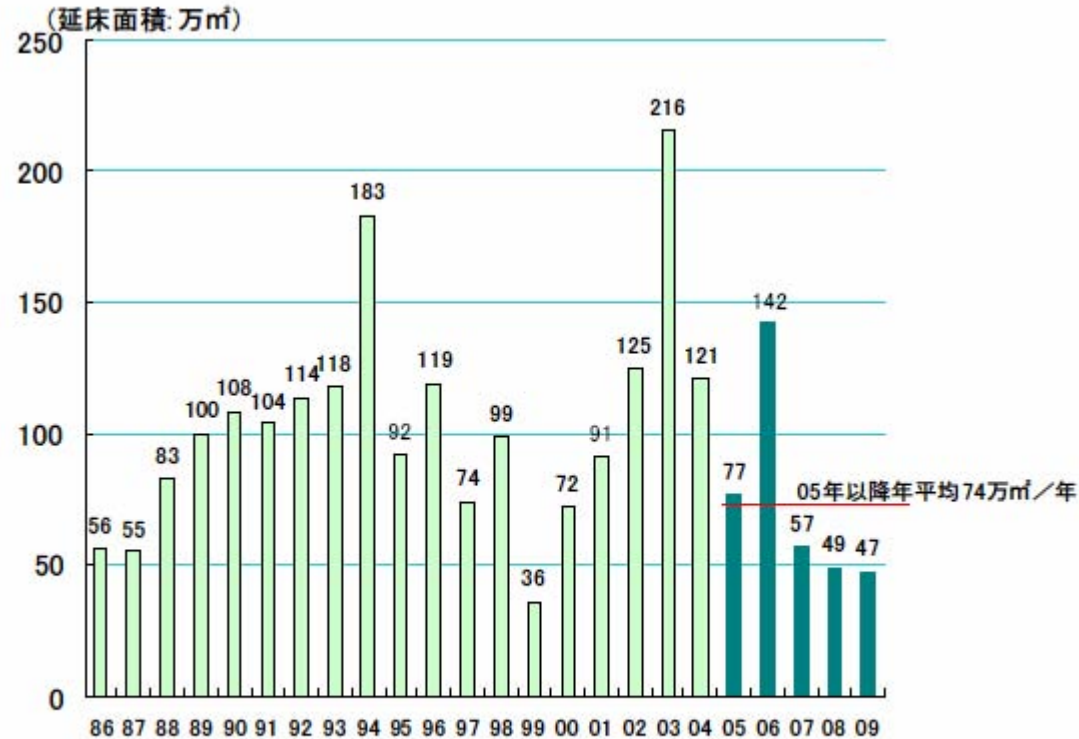
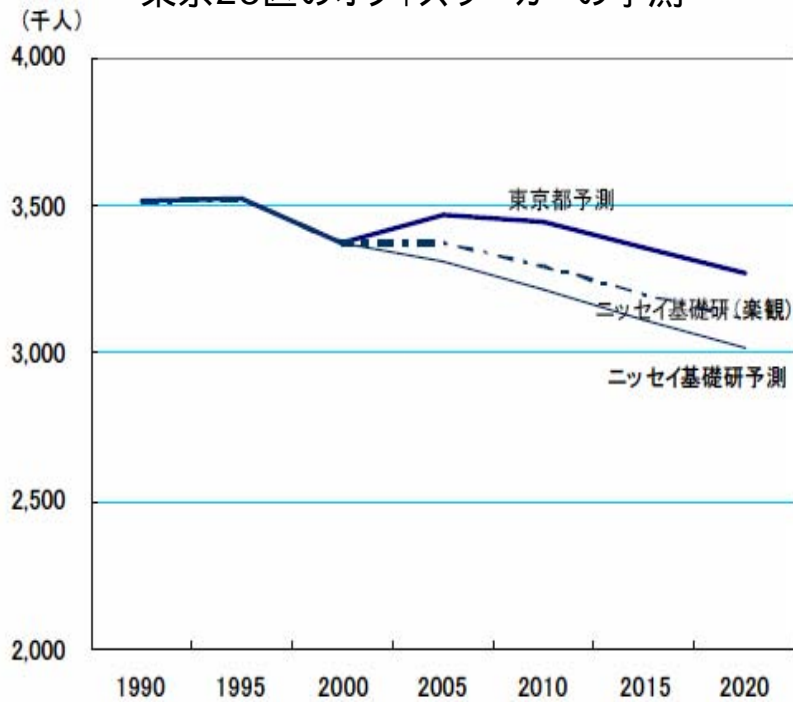
東京23区仕事所床面積の推移
(東京都資料)



東京のオフィスに関する予測（参考）

東京23区の大規模オフィスビル供給（実績と予測）

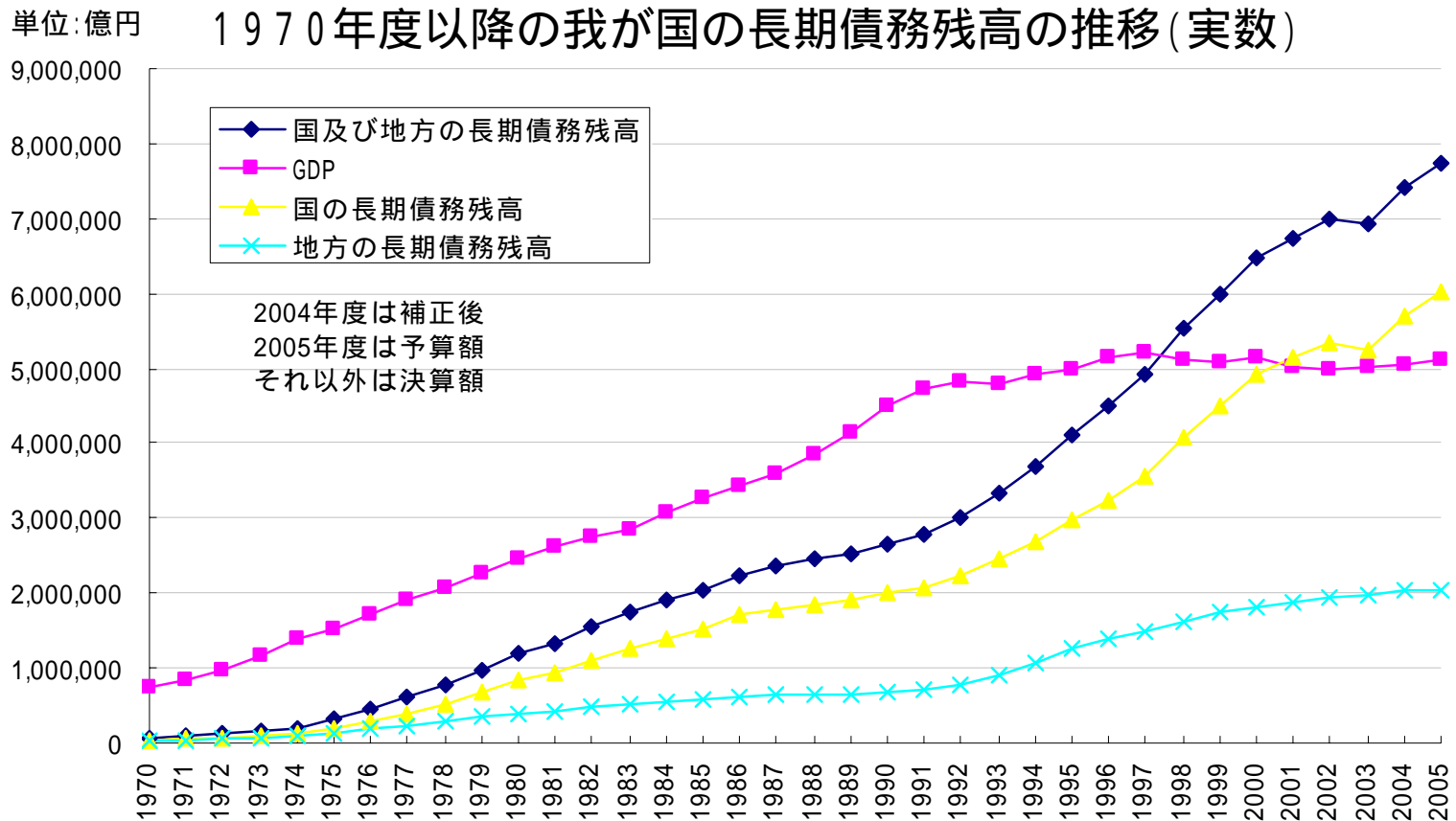
東京23区のオフィスワーカーの予測



(注) 延床面積1万㎡以上のオフィス用途部分が対象
 (出所) 森ビル調査を基にニッセイ基礎研究所が作成

我が国の財政赤字

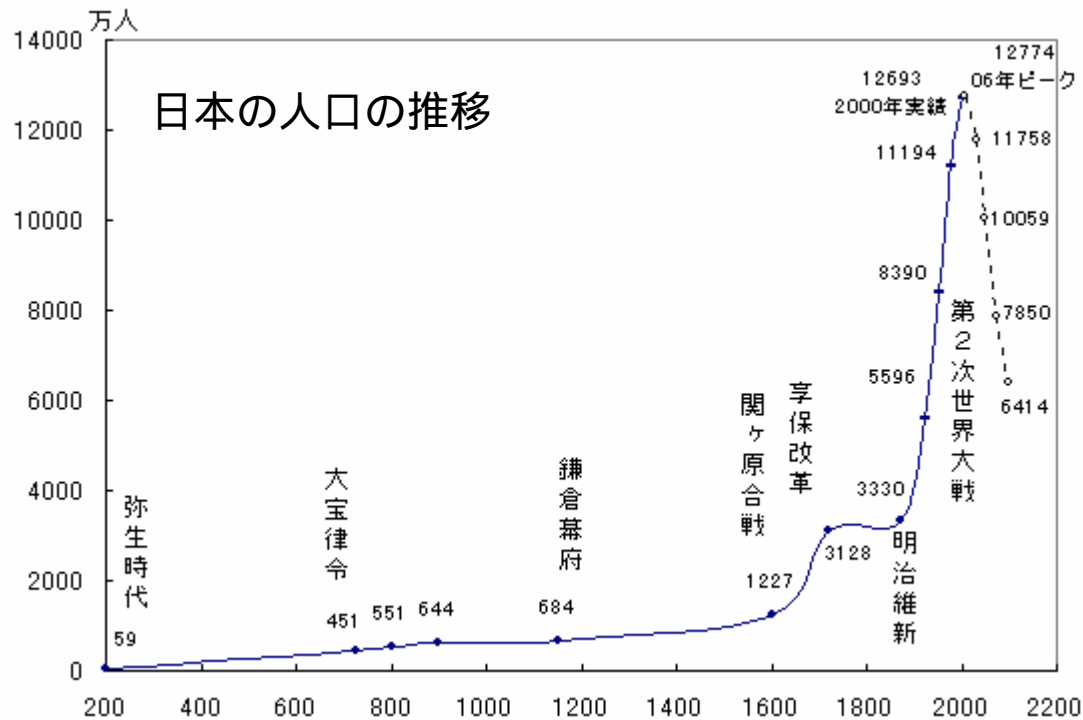
我が国の財政赤字は、1秒間に約100万円のペースで増加しています。



人口減少社会の到来

明治維新以降は、日本史上に特筆すべき人口激増の時代でした。

まもなく、人口減少・高齢化社会を迎え、人口減少時代に適応した都市の在り方の検討が求められています。



(資料) 明治維新までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」(2000) (“・”)

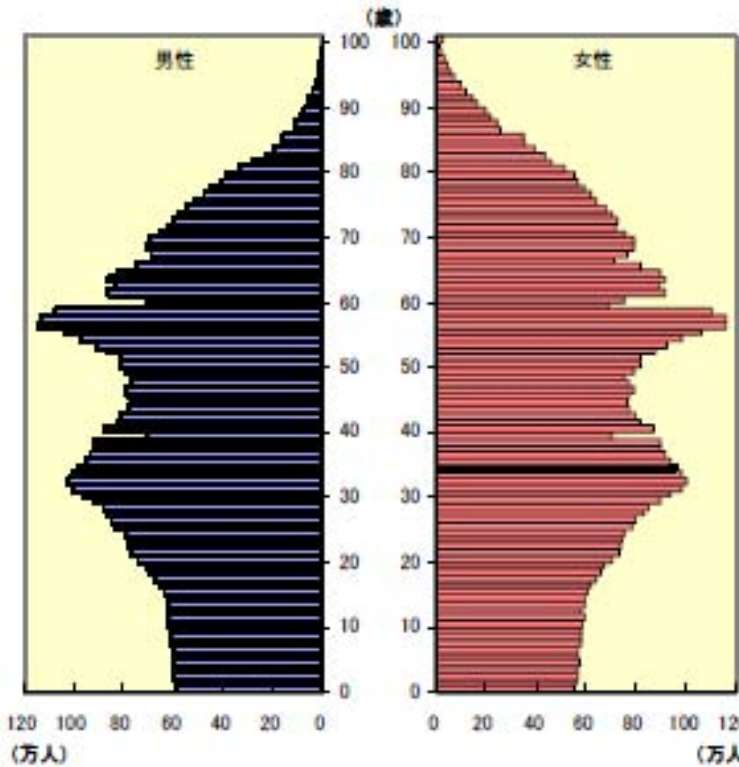
1920年、50年、75年、2000年は総務省「国勢調査」 (“-”)

2006年、2030年、2050年、2075年、2100年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2002年1月推計)」の中位推計 (“-。-”)

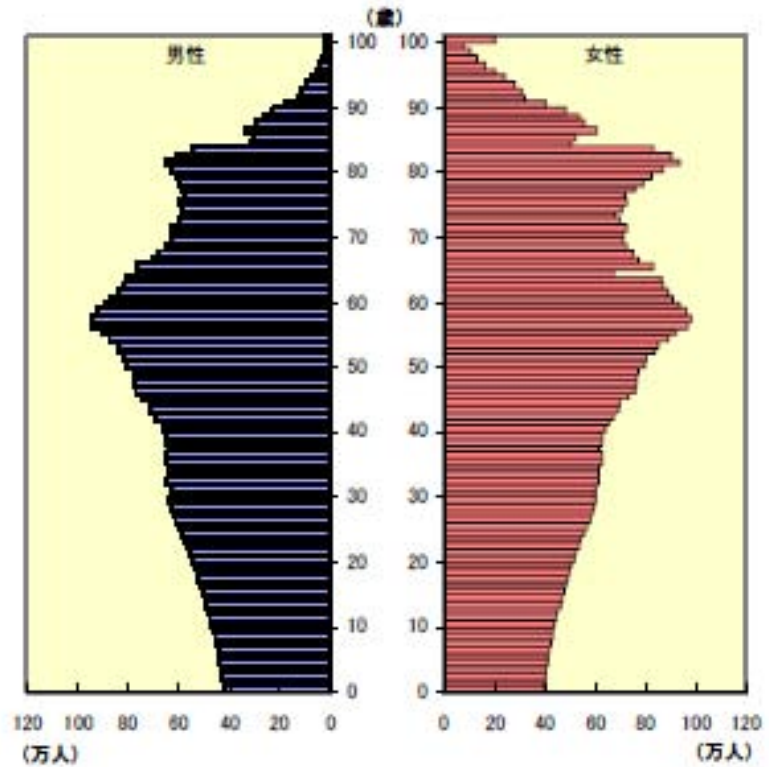
進む高齡化

人口構成の推移

① 2000年時点



② 2030年時点



『21世紀ビジョン』に関する専門調査会 経済財政ワーキンググループ報告書より抜粋。
元データは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月)」